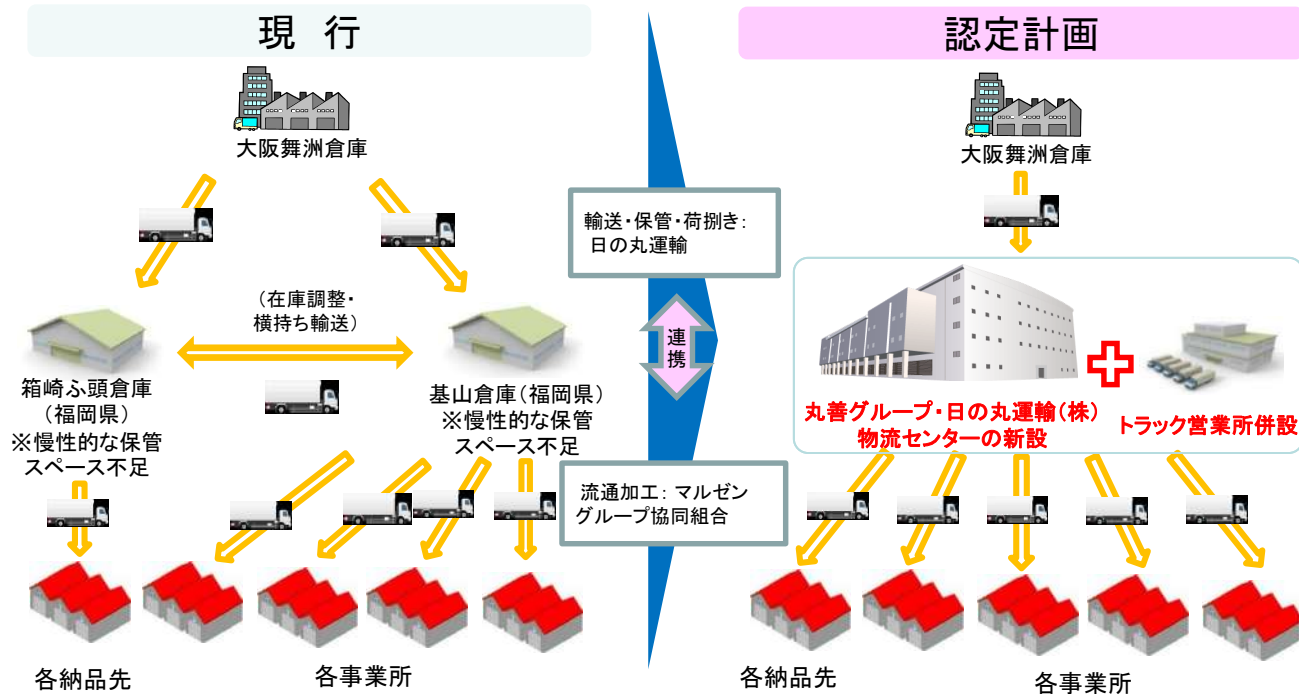


# 269.福岡物流センター新設に伴う輸送網集約事業

## ○分散している物流拠点を集約し、輻輳している輸送網を集約する取組み（福岡県福岡市）

- **日の丸運輸**は、水産加工食品を福岡県内の2箇所の物流拠点（一時保管施設）を經由し、各納品先・事業所へ配送しているが、慢性的な保管スペース不足から在庫調整、横持ち輸送が発生する等、非効率な輸送体制となっている。今般、「**丸善グループ・日の丸運輸(株)物流センター**」を新設し、物流拠点及び輸送網を集約して効率化を図り、令和3年8月より業務開始予定。
- 国土交通省は、令和3年7月7日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・2箇所に分散している**物流拠点（一時保管施設）**を集約し、輻輳している**輸送網**を集約。
- ・**トラック台数・走行距離の削減**により、**CO<sub>2</sub>排出量を削減（約11%）**。
- ・**作業場所及び一時保管場所の拡充並びにバース増設**により、**手待ち時間を削減（約70%）**。



### <実施事業者>

- ・日の丸運輸(株)
- ・マルゼングループ協同組合

### <特定流通業務施設の概要>

- ・所在:  
福岡県福岡市東区蒲田4丁目435番、他10筆
- ・アクセス:  
九州自動車道福岡ICから約0.4km
- ・床面積: 8,483㎡
- ・日の丸運輸(株)のトラック営業所を併設

# 272. 冷凍食品のRORO船を利用した往復船舶モーダルシフト

令和3年7月16日 認定

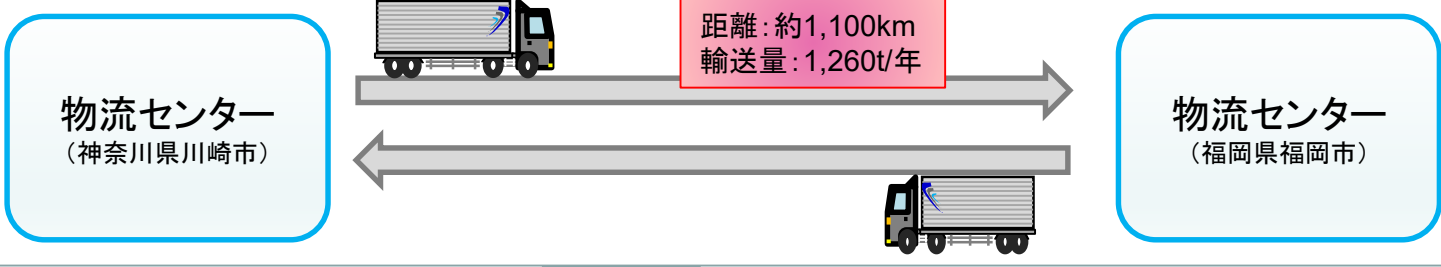
## 事業主体

キャリーネット(株)  
商船三井フェリー(株)

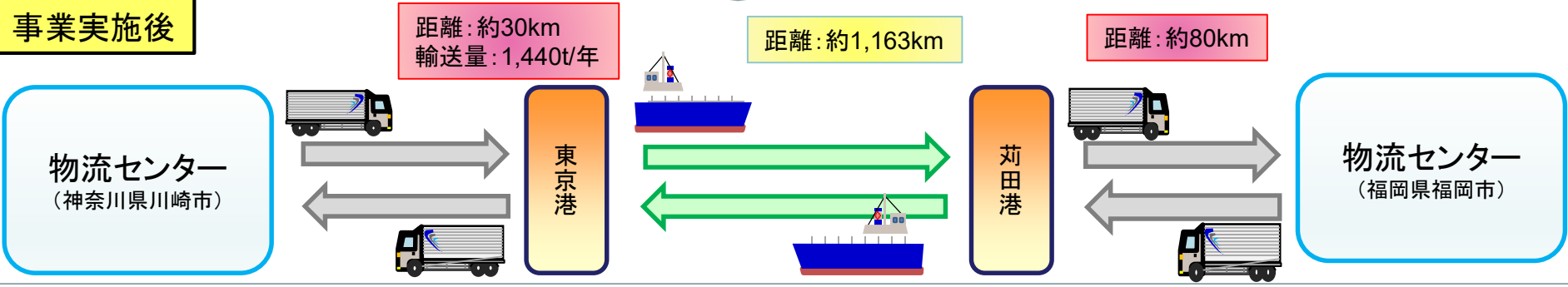
## 事業内容

キャリーネット(株)が神奈川県川崎市・福岡県福岡市間でそれぞれ陸送している冷凍食品を、商船三井フェリー(株)によるRORO船を利用した船舶モーダルシフトを実施することにより物流の効率化を図る。

## 事業実施前



## 事業実施後



## 特徴

- ・ 冷凍食品の船舶モーダルシフト
- ・ 10tトラックからトレーラー輸送の主軸化

## 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 415.1 t-CO<sub>2</sub> (67.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 3,960 時間 (87.4%)

# 273.冷蔵・冷凍食品の往復モーダルシフト

## 事業主体

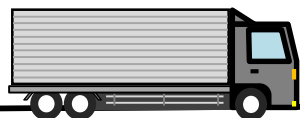
東京九州フェリー(株)  
 運送事業者A  
 運送事業者B

## 事業内容

北九州～関東間の冷蔵・冷凍食品輸送を、トラック輸送から船舶輸送へ転換

## 転換前

運送会社A  
九州支店



往路: 冷蔵・冷凍食品輸送 陸送距離約1,000km  
 10tトラック 3台で運行

運送会社A  
関東支店

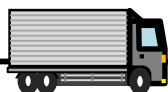
復路: 冷蔵・冷凍食品輸送  
 大型2台で運行



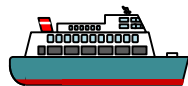
## 転換後

運送会社A九州支店

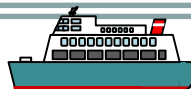
新門司港



往路: 冷蔵・冷凍食品輸送 陸送距離 約1,000km  
 10tトラック輸送1日目1本、2日目2本の交互運行



往復: トレーラ1台をフェリー輸送



横須賀港

運送会社A  
関東支店

## 特徴

- ・往復の船舶モーダルシフト
- ・フェリーに通信機を設置し、フェリー上のコンテナの温度管理と遠隔操作を可能とする。

## 効果・特徴

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 241.7t-CO<sub>2</sub> (25.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化 16,070時間 (54.8%削減)

# 275. 搗精大麦輸送のモーダルシフト

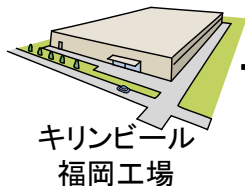
## 事業主体

麒麟麦酒株式会社、三菱倉庫株式会社、  
鈴与海運株式会社

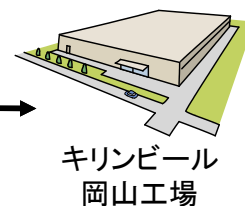
## 事業内容

搗精大麦の穀物専用ダンプ車両を使用した陸上輸送から、20ft海上コンテナと同サイズの改造専用コンテナを使用したコンテナ船での海上輸送へモーダルシフトを行う

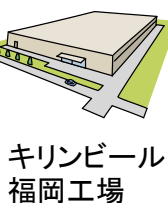
## 転換前



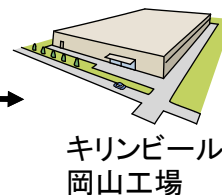
穀物専用ダンプ車両による陸送  
陸上輸送距離約500km



## 転換後



改造コンテナ・コンテナ船を使用し  
陸上・海上輸送を組み合わせた  
輸送に変換



## 特徴

- ・ 搗精大麦の船舶モーダルシフト
- ・ 20ft海上コンテナと同規格の専用コンテナを製造・使用することにより、世界的に標準規格の20ft海上コンテナで使用されているトラクタヘッド・シャーシ・コンテナ内航船等の使用が可能

## 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量134.1t-CO<sub>2</sub>(40.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化 2,471時間(64.9%削減)

令和3年7月30日 認定

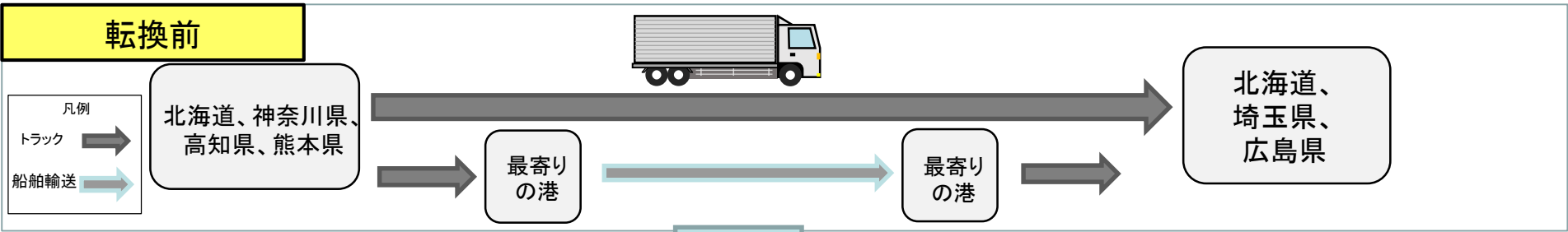
# 276.青果物複数箇所での鉄道モーダルシフト

**事業主体**

(株)ラルズ、(株)シジシージャパン、  
(株)フレスタ、日本貨物鉄道(株)、  
全国通運(株)

**事業内容**

全国の出荷場所からトラック一貫又は船舶で、青果物を輸送しているが、鉄道コンテナ複合輸送を行うことにより、環境負荷の低減と省力化を図る。



**特徴**

- 青果物の鉄道モーダルシフト
- 複数箇所での最寄り駅からの鉄道貨物輸送

**効果・特徴**

- CO<sub>2</sub>排出削減量: 24.4t-CO<sub>2</sub> (60.5%)
- ドライバー運転時間省力化 764.5時間 (71.8%削減)

# 277.アイスの船舶モーダルシフト

## 事業主体

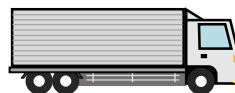
(株)ロッテ、(株)曙運輸、  
(株)ロジネットジャパン九州

## 事業内容

トラックで輸送をしていた埼玉から福岡までのアイスの輸送を船舶及びトレーラー輸送に転換するモーダルシフトを実現し、環境負荷低減と省力化を推進する。

## 転換前

(株)ロッテ浦和工場  
(埼玉県)



(株)ヨコレイ福岡  
(福岡県)

## 転換後

(株)ロッテ浦和工場  
(埼玉県)

有明港  
(東京都)



船舶モーダルシフト約841km

刈田港  
(福岡県)

(株)ヨコレイ福岡  
(福岡県)

## 特徴

- ・アイスの船舶輸送へモーダルシフト
- ・通常より積載量が多い42.5ft船舶シャーシを使用して、物流効率を良くする。

## 効果

- ・CO<sub>2</sub>排出削減量: 40.0t-CO<sub>2</sub> (56.4%)
- ・ドライバー運転時間省力化 905時間 (89.4%削減)

# 278.粉末プロテインの鉄道モーダルシフト

## 実施主体

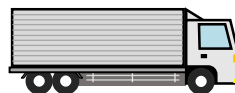
(株)明治、明治ロジテック(株)、  
日本貨物鉄道(株)、全国通運(株)

## 事業内容

トラックで輸送をしていた岡山から埼玉までの粉末プロテインの輸送を鉄道コンテナ輸送に転換するモーダルシフトを実現し、環境負荷低減と省力化を推進する。

## 転換前

明治倉敷工場  
(岡山県)

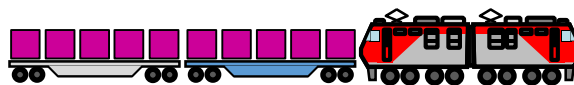


明治東日本MDC  
(埼玉県)

## 転換後

明治倉敷工場  
(岡山県)

岡山貨物  
ターミナル駅  
(岡山県)



モーダルシフト  
約769km

越谷貨物  
ターミナル駅  
(埼玉県)

明治東日本MDC  
(埼玉県)

## 特徴

- ・ 粉末プロテインの鉄道輸送へのモーダルシフト
- ・ オートフロアコンテナの利用による、荷役作業省力化の実現

## 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 26.0t-CO<sub>2</sub> (69.6%)
- ・ ドライバー運転時間省力化 382.4時間 (95.6%削減)

# 279.自動車用品の鉄道モーダルシフト

## 事業主体

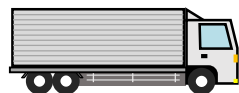
(株)ホンダロジスティクス、(株)ホンダアクセス、  
(株)ホンダパーツ西南、(株)ホンダパーツ九州  
日本通運(株)

## 事業内容

トラックで輸送をしていた埼玉から九州地区までの自動車用品の輸送を鉄道コンテナ輸送に転換するモーダルシフトを実現し、環境負荷低減と省力化を推進する。

## 転換前

ホンダアクセス  
日高事業所  
(埼玉県)



九州デポ  
(福岡県古賀市)



4t車

九州地区8拠点

(福岡県、佐賀県、  
大分県、長崎県、  
熊本県、宮崎県、  
鹿児島県)

## 転換後

ホンダアクセス  
日高事業所  
(埼玉県)

新座貨物駅  
(埼玉県)



モーダルシフト約1,133~1,485km

北九州貨物駅  
(福岡県)

熊本貨物駅  
(熊本県)

鹿児島貨物駅  
(鹿児島県)

九州地区8拠点

(福岡県、佐賀県、  
大分県、長崎県、  
熊本県、宮崎県、  
鹿児島県)

復路(容器回収)

## 特徴

- 自動車用品の鉄道モーダルシフト
- 出荷姿を手積み手降ろしから容器化し、ドライバーの作業負荷軽減を図る。

## 効果

- CO<sub>2</sub>排出削減量: 253.6t-CO<sub>2</sub> (48.2%)
- ドライバー運転時間省力化 5,775時間 (48.0%削減)



令和3年7月30日 認定

# 280.鋼材等の重量物の幹線輸送集約化

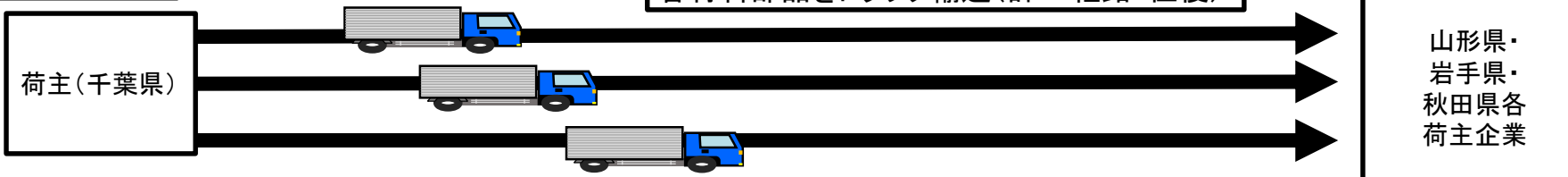
## 事業主体

(株)梶哲商店、三喜運輸(株)、(株)メタル便  
総合トラック(株)、(株)興和総合研究所

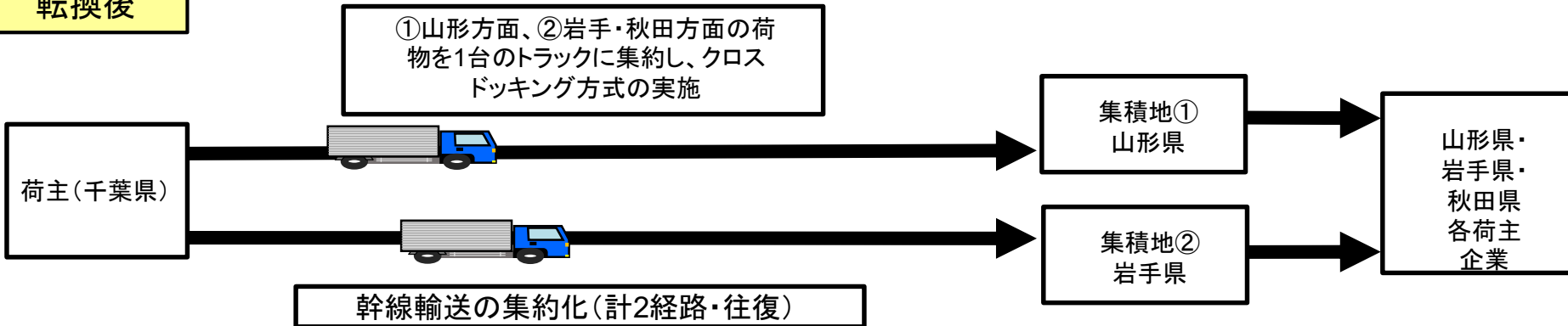
## 事業内容

千葉県浦安市～山形県・岩手県・秋田県間で複数の荷主企業がそれぞれ輸送していた鋼材等の重量物の幹線輸送集約化を実施する。

## 転換前



## 転換後



## 特徴

- ・鋼材等の重量物の幹線輸送集約化
- ・クロスドッキング方式による幹線輸送の集約化

## 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 152.8t-CO<sub>2</sub> (78.2%)
- ・ ドライバー運転時間省力化 3,726時間 (84.5%削減)

# 281.ダンボール原料の鉄道モーダルシフト

## 事業主体

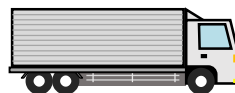
北越コーポレーション(株)  
北越物流(株)  
ヤマト運輸(株)

## 事業内容

関東から新潟までのダンボール原料の輸送を鉄道コンテナ輸送に転換するモーダルシフトを実現し、環境負荷低減と省力化を推進する。

## 転換前

関東地区ダンボール古紙事業者  
(千葉県、東京都、埼玉県)

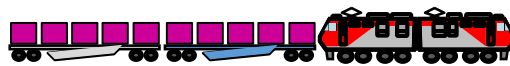


北越コーポレーション新潟工場  
(新潟県)

## 転換後

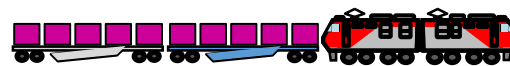
関東地区ダンボール古紙事業者  
(千葉県、東京都、埼玉県)

隅田川駅  
東京貨物ターミナル駅  
(東京都)



新潟貨物ターミナル駅  
(新潟県)

熊谷貨物ターミナル駅  
(埼玉県)



焼島駅  
(新潟県)

モーダルシフト約265~379km

北越コーポレーション新潟工場  
(新潟県)

## 特徴

- ・ 段ボール原料の鉄道モーダルシフト
- ・ 実施中の焼島駅発熊谷貨物駅着の鉄道輸送の帰り荷として活用

## 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 261.1t-CO<sub>2</sub> (70.1%)
- ・ ドライバー運転時間省力化 4398.4時間 (84.0%削減)

# 282.中質繊維板のRORO船モーダルシフト

## 事業主体

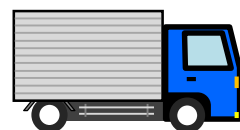
- ・ ホクシン株式会社
- ・ 大王海運株式会社

## 事業内容

大阪府から香川県へ中質繊維板(内装建材、家具の材料や住宅の構造用パネルに使用される製品)を陸送していたが、堺泉北港から三島川之江港を内航RORO船による海上輸送に切り替えて輸送の効率化を図る。

## 転換前

ホクシン  
本社工場  
(大阪府)



海上輸送 トラック

納品先工場  
(香川県)

約244km

## 転換後

20tトレーラー  
(運行回数約35%削減)

ホクシン  
本社工場  
(大阪府)



約6km

堺泉北港  
(大阪府)



約213km

三島  
川之江港  
(愛媛県)



約50km

納品先工場  
(香川県)

モーダルシフト区間

## 特徴

- ・ 20トントラクターのけん引によるシャーシを活用
- ・ トラック輸送をRORO船に船舶モーダルシフト

## 効果

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減量: 14.3t-CO<sub>2</sub> (28.5%削減)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 577時間 (78.9%削減)

# 283. 中部地方向け紙・板紙製品を陸上輸送から海上輸送へモーダルシフト

## 事業主体

大王製紙株式会社、ダイオーロジスティクス株式会社、大王海運株式会社

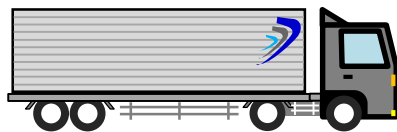
## 事業内容

大王製紙(株)が生産する中部地方向けの紙・板紙製品について、ダイオーロジスティクス(株)と大王海運(株)が連携し、内航船を活用したモーダルシフトを行うことにより物流の効率化を図る。

## 事業実施前

大王製紙  
三島工場

(愛媛県四国中央市)



距離: 約500km  
輸送量: 12,000t/年

A事業者  
B工場

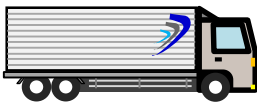
(愛知県)

## 事業実施後

距離: 約1km  
輸送量: 12,000t/年

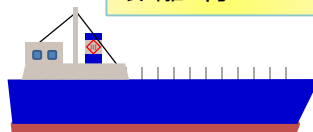
大王製紙  
三島工場

(愛媛県四国中央市)



三島川之江港

距離: 約460km



名古屋港・  
金城ふ頭倉庫

距離: 約80km



A事業者  
B工場

(愛知県)

## 特徴

- 紙・板紙製品の中距離陸上輸送からの船舶モーダルシフト

## 効果

- CO<sub>2</sub>排出削減量: 224.6 t-CO<sub>2</sub> (42.0%)
- ドライバー運転時間省力化: 3,624 時間 (63.4%)

# 284.花き輸送の輸送網の集約、モーダルシフト

## 事業主体

株式会社FLS、三和陸運株式会社  
セイコー運輸株式会社、  
株式会社九州常磐トラックス

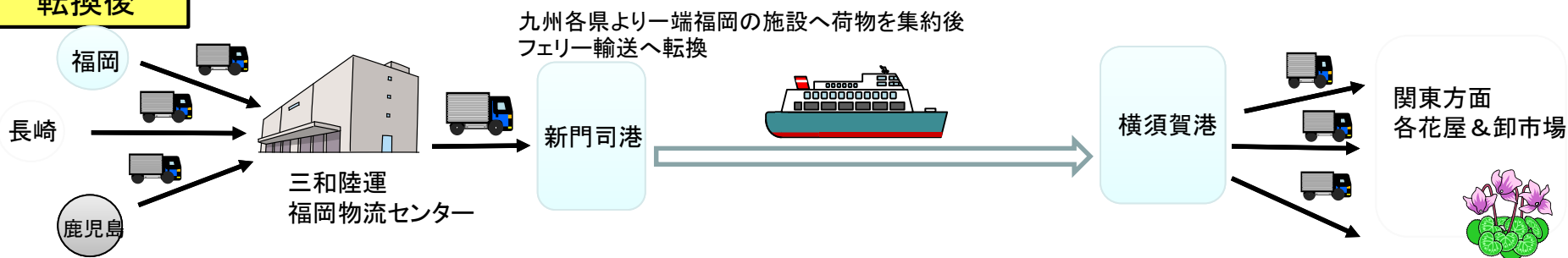
## 事業内容

九州地区から関東地区への花きの輸送につき、福岡の既存施設で輸送網集約後、フェリーへのモーダルシフトを行う。

## 転換前



## 転換後



## 特徴

- 花き輸送の船舶モーダルシフト
- 既存施設を利用した輸送網の集約化

## 効果

- CO<sub>2</sub>排出削減量: 2067.0t-CO<sub>2</sub> (72.0%)
- ドライバー運転時間省力化 5,750時間 (76.7%削減)